



複十字シールには、**健康を願うメッセージ**が込められています。

2024年度は、「自然との調和」をテーマに生命(いのち)を持つものたちが共に生きる姿をシールにしました。

4割が80歳以上の高齢者

この年齢層の人々の多くがかつて日本で結核がまん延した時代に感染を受けており、高齢となつてから免疫力の低下や加齢に伴うさまざまな健康問題によって発病するケースが多数を占めています。



20代では外国生まれの患者が7割

留学・就業で結核罹患率が高い途上国から多くの若年層が入国しています。



世界では総人口の約4分の1が結核に感染しています。

特にアジア、アフリカの国々は保健医療・結核対策の整備の遅れや貧困の問題を抱え、適切な治療を受けることが難しく、深刻な問題となっています。



ごあいさつ

複十字シール運動は、1952年に結核予防を国民の協力を得て進めていこうという趣旨の下に始まりました。以来、全国の結核予防会支部・婦人会と連携し活動しています。

2022年の日本の結核罹患率は人口10万人あたり8.2となり、結核低まん延の水準を維持しております。しかし、新登録患者の中では高齢者と外国出生者が多くを占めており、重要な課題となっております。

結核ゼロを目指して、結核予防会は今後も結核制圧の手を緩めることなく、国内外の活動の強化に努めてまいります。複十字シール募金への皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。



公益財団法人結核予防会
理事長 尾身 茂

結核予防会とは

日本で結核がまん延していた1939年に内閣総理大臣に賜った皇后陛下の令旨に基づき設立されました。以来、日本と世界から結核をなくすための活動を続けています。

運動のはじまり

1904年にデンマークでクリスマスシールが発行され、その収益金は結核に苦しむ人々のために役立てられました。シールを使った募金活動は世界に広がり、現在も各国で行われています。結核予防会は1952年に最初のシールを発行しました。

✚ 複十字章は世界共通の結核予防運動のシンボルです。

お問い合わせ

複十字シール募金は下記にて受け付けています。
お気軽にご相談ください。

公益財団法人結核予防会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-3-12
<https://www.jatahq.org>



☎ 0120-416864 (事業部募金推進課)

みんなで育てる、結核のない世界

複十字シール運動



複十字シール運動
イメージキャラクター
シールぼうや



結核を知って、
結核のない未来を
育てよう

結核をなくすため、複十字シール運動にご協力お願いします！

主催：✚ 公益財団法人結核予防会
Japan Anti-Tuberculosis Association (JATA)

後援：厚生労働省・文部科学省・公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

結核の「イマ」と 私たちの「コレカラ」

結核は過去の病気ではありません。
日本と世界の結核の「イマ」について
知ることから始めてみませんか。

結核のイマ

日本で結核を発病する人

10,235人

結核で失われる命

1,664人

(2022年)



複十字シール運動は、 結核のない世界をつくる運動です。

結核のない世界をつくることを目的に1952年に始まった「複十字シール運動」。
結核予防会及び全国の協力団体が窓口となり、募金活動を行うとともに、
病気への理解を広め、予防の大切さを伝えています。

私たちのコレカラ

患者数が減少し、結核への関心が低下しているため、
普及啓発に重点をおいています。

- 全国の協力団体を通じた啓発キャンペーンの実施
- 結核予防婦人団体の講習会
- 結核についてわかりやすく解説したパンフレット「結核の常識」やポスターなど教育広報資材の作成、配布



啓発キャンペーン



結核予防週間ポスター

国内の活動で培った技術、知識、経験を活かして、世界の人々を結核から守るために
国際協力に取り組んでいます。

- 医療従事者への技術指導
- 患者さんを支える住民ボランティアの育成
- 正しい知識の普及啓発

募金による
主な
活動地域

アフリカ(ザンビア)
アジア(カンボジア、ネパール)



医療従事者への技術指導(ザンビア)



結核検診の様子(ネパール)

世界で結核を発病する人

約1,060万人

結核で失われる命

約130万人

(2022年)



皆様からいただいた募金は、主に結核の国際協力、結核や肺がん・COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの普及啓発や結核予防団体の支援、調査研究等に役立てられており、日本と世界の人々の健康を守ることに繋がっています。

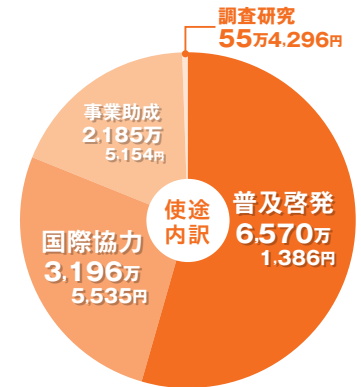
2023年度募金報告

募金収入

1億7,777万9,971円

事業費(諸経費除く)

1億2,007万6,371円



▶ 税の優遇措置

募金は、寄附金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

▶ 表彰制度

年間個人50万円、法人100万円以上の募金をいただいた方に、結核予防会の規程により、結核予防会総裁名の感謝状の贈呈がございます。